

建築士の日イベント「今では考えられない昔の人による本物の家づくり」

現代は、電気や車などを使うことにより、あらゆる作業が楽に行えます。ただ、それには常に地球の限りある大切な資源を使い続けているという現実があります。まだ電気のないころの人力による建築工程を知ることにより、今のありとあらゆるものに対して行き渡った現代の便利な技術に対しての長所短所を見つけ出し、更に伝統技術の観点から現代人として我々はこれから何を後世に残し、伝えて行かなければいけないかを考えるイベントです。子どもたちにもそれらを考えて頂き共に、よい未来について考えるイベントとしています。

昔の人の凄さ、よりよい家づくりの推進、消費社会を考える、ものを大事にする心、伝統文化を大事にする心、努力する精神、諦めない精神も伝わる内容となっています。

第一部 古い建物と日本人



講師プロフィール

佐藤大規氏（さとうたいき）

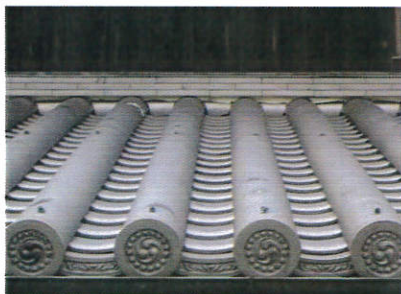
1978年大分県生。広島大学文学部人文学科卒、同大学院博士課程後期修了。博士(文学)。2012年10月より広島大学総合博物館学芸職員。安土城天主や豊臣大坂城天守の復元や近世社寺建築の調査研究を行う。最近は、博物館における展示や解説(年100回以上)を行う傍ら、特に広島県や大分県の近世社寺建築について、地方色などその特質を明らかにする研究と同時に埋もれた文化財の発掘・評価を進めています。

第二部 各ブースの実演(瓦、大工、左官)

今の建築技術と昔の建築技術を比較することにより今のよさ昔のよさを実際の目で見て体験して感じてもらいます。

瓦部門

本葺き瓦の話
和瓦の話
鬼瓦の話
赤瓦の話
瓦葺き体験
瓦砕き体験



大工部門

丸太担ぎ
今と昔の道具の比較実演
ものづくりコーナー



左官部門

左官による鏝絵実演
木舞の組み方
土壁の塗り方
漆喰の塗り方
アースバックハウスのつくり方



お問い合わせ先

広島県建築士会東広島支部

青年女性委員会 青年女性委員長 実森まで TEL 090-1016-0403